

令和3年度成人式 あいさつ (要旨)

若さと希望に満ち溢れる新成人の皆さん、ご成人誠におめでとうございます。心からお祝いとお喜びを申し上げます。また今日まで育てこられたご家族の皆様、恩師の先生方、地域の皆様にもこれまでのご労苦に対して敬意と感謝を申し上げるとともに、重ねてお祝いを申し上げます。

さて、世の中は大変な状況となりました。新型コロナウイルスという病原体の出現によって私達の生活や暮らしが大きな影響を受ける結果となっています。本来であれば、この式典ももっと早い時期に大勢の人に来て頂き、晴れの門出を盛大に祝ってもらふべきところですが、まだまだ感染予防といった観点から、こういった形にならざるを得ない事、誠に残念であると同時にどうかご理解をお願い致します。あわせて皆さん方も先ずは感染予防対策、そして新しい生活様式を身に付ける中でお仕事、学業に励んで頂きたいと思えます。本当に残念で仕方がありませんが、と言って嘆いてもどうかなるものでもありません。例え世の中がどういった状況であろうと、皆さん方がこうして立派に成長され、成人になったという事実には変わりはありません。成人になった今だからこそ、現実と向き合い、今出来る事やるべき事、何よりも将来のために将来の礎となる今やるべき事、今だからこそやっておくべき事をひとつひとつ積み上げておいて欲しいと期待しています。

コロナが私達の生活に大きな影響を与えている事は紛れもない事実ですが、コロナが無かったとしても今の日本は時代の大きな変わり目、変化点にある事を忘れてはなりません。それは、日本と言う国が人口減少社会に突入したことによるものです。これまでは日本全体で見れば、人が増えそれとつれて物が増え、さらには私達の暮らしが便利になってきた時代でした。しかしこれからは人が減っていきます。既に物は満ち溢れていきます。様々な場面で、これまでとは逆の事や経験だけでは対応できない事が起きてきます。

人が減るという事については皆さん方はピンと来ないと思えますので、少しだけ説明させてもらいますと、よく考えてみて下さい。お母さんお父さん、この2人がいてはじめて子どもが生まれます。仮にこの2人から2人の子どもが産まれたとすれば、やがてお母さんお父さんが亡くなっても全体の数は変わりません。しかし、子どもの数が2人以下でそれが長く続けば全体の数は減りますよね。日本は今まさにその状況にあるという事です。これから日本の人口は暫く減り続けます。既に人手不足と言った声が聞かれようかと思えます。人がいなくなれば、当たり前のことですが人がやっていた事ができなくなる。例えばあなたのしている仕事ができなくなる、やる人がいなくなるという事です。また人がいることで上手く回っていた社会や経済の仕組みが回らなくなるといった事も出て来ます。これを乗り越えるために、今の生活の仕方、暮らし方、働き方などの一部を変えざる得ない一面が出て来ますし、これにAIやIoTが加われば、これからの社会が目まぐるしく急激に変わっていくことは想像に難くありません。考え方も変わっていく、既に変わりつつある面もあります。例えば価値観。これまでは、とかく物そのものに価値を見出したり、或いは物を沢山持っている事、突き詰めればお金や経済力と言ったところに視点が置かれがちでした。しかし、これからの

時代の価値観と言ったものはまさに人それぞれ、十人十色です。それは皆さんの方がよく気付いている事と思いますが、個性の時代、多様性の時代、不確実性の時代ともなればそれぞれがしっかりとした価値感や物差しを持つ事も大切なことです。

いずれにしましても、これからは先が見通しづらい時代を生き抜いて行かなくてはならない訳で、ともすれば不安や心配が先に気がちですが、大丈夫です。皆さんにはそれを乗り越えて行くだけの若さ、エネルギー、可能性があります。先ずは自分を信じて自身の見定めた方向に進んで行って下さい。そしてみんなで力をあわせて明るい未来を創りあげて下さい。多くの人が皆さん方が成人になったことに期待をしています。成人になった途端に、日頃の挨拶や態度、身なり、言葉遣いに始まり、職場での責任や地域での自覚などに厳しい目も注がれるかと思えます。その厳しさは皆さんへの期待の表れでもあります。その期待に応えるべく、今という時を1日1日を真剣にひたむきに過ごして行って欲しいと期待しています。

地元の町長として、ひとつだけお願いをしておきます。それは皆さんの若い力を故郷に貸して欲しいということです。どんな方法でも構いません。故郷に住むこと、故郷で働くこと、故郷に戻ってくること、或いは故郷に関わること、故郷を思うことでも構いません。「ふるさと南木曾」は若い力を今本当に必要としています。これからも故郷と繋がっていて下さい。故郷に繋がっている限り故郷はいつでも皆さんを応援しています。皆さんもそんな故郷に何かしらの方法で力を寄せて頂ければとお願いをするものです。

そんなことを心の片隅に置きながらも、先ずは将来につながるように今やっておくべきことを一つ一つ積み重ねておく事、そして成人としての回りからの期待に応えるべく1日1日をひた向きに生き抜いていくこと、そのことで必ずや皆さんの人生が花開き実り多きものとならんことを心からお祈り申し上げ、成人にあたっての饞の言葉と致します。

人生はこれからが本番です。がんばっていきましょう。

(令和4年1月8日 南木曾会館ホール)